

液晶ディスプレイ **OSD 操作マニュアル**

本書をお読みいただく前に

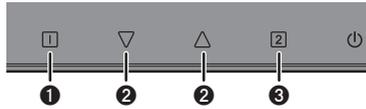
本書には液晶ディスプレイの設定に必要な操作方法が記載されています。
本書をお読みいただく前に、製品に同梱されているユーザーズガイドに従って、液晶ディスプレイを設置してください。

目次

1. OSD 基本操作と設定	3
各ボタンの機能	3
基本的な操作方法	3
基本的な設定方法	4
2. 自動画面調整	5
自動画面調整の実行方法	5
3. ピクチャー調整	6
4. 入力選択	7
5. オーディオ調整	8
6. カラー調整	9
7. インフォメーションの表示	10
8. マニュアル画像調整	11
9. 設定メニュー	13
10. メモリーリコール	14
11. 便利なクイック操作	15
オーディオ調整	15
入力選択	15
Picture Mode / 自動画面調整	15
コントラスト / 輝度の初期化	15
電源ロック	16
OSD ロック	16
12. 製品仕様について	18
13. 用語集	19

1. OSD 基本操作と設定

各ボタンの機能

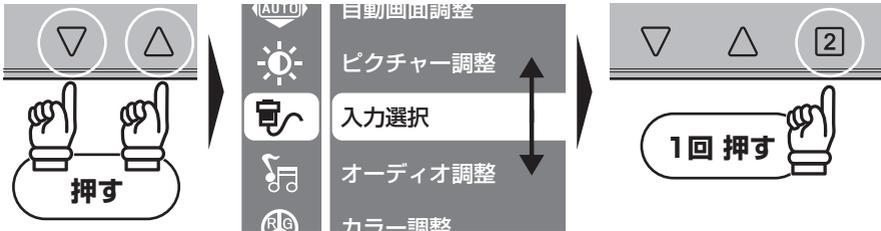


①	① ボタン	OSD メニューの表示、キャンセル
②	△▽ ボタン	OSD メニュー操作、 OSD 非表示時ショートカットキー
③	② ボタン	OSD メニュー決定、 OSD 非表示時ショートカットキー

基本的な操作方法

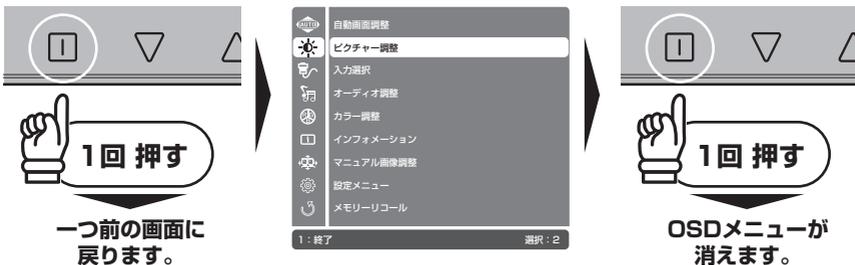
※ 現在選択している機能は白背景で表示されます。

- ① ① ボタンを押すと、画面に OSD メニューが表示されます。
- ② △▽ ボタンで設定したい機能まで移動し、② ボタンで決定します。



- ③ サブメニューが表示されるので △▽ ボタンで設定したい項目まで移動します。
- ④ 次ページ「基本的な設定方法」を参照し、設定を変更します。
- ⑤ 変更が完了したら ① ボタンを押して、前の画面に戻ります。

① ボタンを押すたびに前の画面に戻るので、OSD メニューが消えるまで順にボタンを押してください。



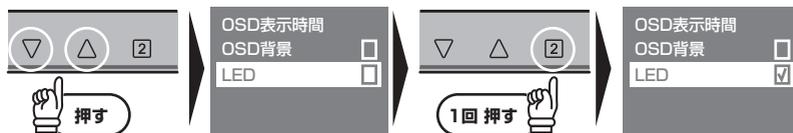
OSD 基本操作と設定

基本的な設定方法

※ 現在選択している機能は白背景で表示されます。

■項目右端にチェックボックスが表示されている場合

チェックボックスの項目を選択している状態で **[2]** ボタンを押すと、チェックボックスにチェックが付き、その機能が有効になります。



■数値バーが表示されている場合

数値バーの項目を選択している状態で **[2]** ボタンを押すと、バーの色が灰色から緑色に変わり、**△▽** ボタンで数値の変更が可能になります。

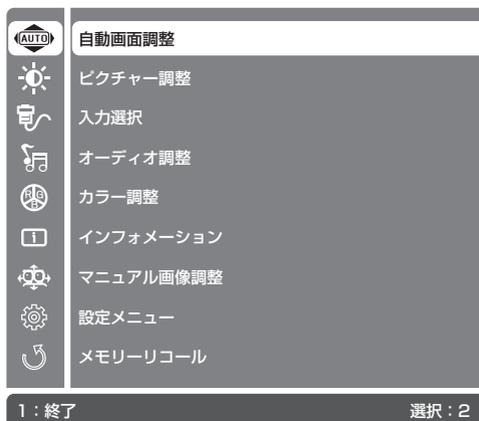
数値を変更したら、再度 **[2]** ボタンを押して確定します。

確定後、**[1]** ボタンを押すとバーの色が灰色に戻るので、必要に応じて **△▽** ボタンで他の項目へ移動します。

■項目右端に◎が表示されている場合

△▽ ボタンで任意の設定へ移動し、**[2]** ボタンを押すと項目の右側に◎が付きます。

2. 自動画面調整



画面位置、クロック、フェーズを適正な設定へ調節します。

自動画面調整の実行方法

※ 現在選択している機能は白背景で表示されます。

- ① **I** ボタンを押すと、画面に OSD メニューが表示されます。
- ② **△▽** ボタンで設定したい自動画面調整を選択し、**2** ボタンで実行します。
- ③ 画面が暗くなり、AUTO のアイコンが表示されます。
調整が完了すると OSD メニューは非表示になります。

△注意

- ・ DVI、HDMI 入力選択時は、この機能は不要なため表示されません。
- ・ 動きや色味の変化が激しい画面の状態で行った場合、十分に調節の効果が発揮できないことがあります。パソコンのデスクトップ画面、単色画像を表示した状態でのメニュー実行をお勧めします。

3. ピクチャー調整



輝度やコントラストを調整し、使用環境に適した画面設定ができます。

※ 操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

ピクチャー調整で設定できる項目

項目名	説明	設定値
コントラスト	画像のコントラスト比を調整します。	0 ~ 100
輝度	画面の明るさを調整します。	0 ~ 100
DCR	有効にすると、画面の明暗に合わせて明るさが自動調整します。	チェック (有効または無効)
エコモード	明るさを抑えることによって、消費電力を軽減します。	オフ, 1, 2, 3 (3段階の明るさ)
Over Drive	有効にすると中間色の応答速度を向上させ、動画のブレを低減させます。	チェック (有効または無効)

※ カラー調整の sRGB を有効にすると、機能の特性上ピクチャー調整が設定できなくなります。

※ マニュアル画像調整の Picture Mode で標準以外の設定を選択すると Over Drive 以外のサブメニューは設定できなくなります。

4. 入力選択



画面に表示する入力端子を選択できます。

※ 操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

入力選択で選択できる項目

項目名	説明
VGA	VGA (D-Sub mini 15 ピン) 端子を選択します。
DVI	DVI (DVI-D24 ピン) 端子を選択します。
HDMI	HDMI (HDMI Type-A) 端子を選択します。
Auto	入力された信号を検出し自動的に映像を表示する端子を選択します。

※ VGA、DVI、HDMI のいずれかが選択されている場合、選択されてない機器の映像は表示されません。

※ 「信号なし」のメッセージが出た場合、**2** ボタンで入力選択メニューを表示し、Auto または他の入力端子を選択してください。

※ 複数の端子に機器を接続している状態で Auto を選択した場合、最初に接続した機器の映像を表示します。

5. オーディオ調整



音声出力に関する各種設定を調整できます。

※ 操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

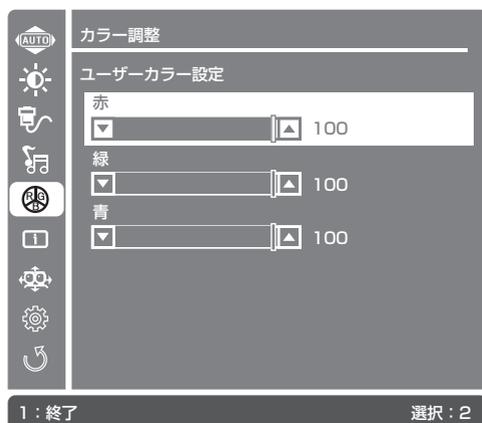
オーディオ調整で設定できる項目

項目名	説明	設定値
音量	本機内蔵スピーカー、およびオーディオ出力コネクタの音量を調節します。	0 ~ 100
ミュート	有効にした場合、本機内蔵スピーカー、およびオーディオ出力コネクタの音声を OFF にします。	チェック (有効または無効)
HDMI Audio	HDMI 入力選択時の入力音声を選択します。 ※ HDMI から音声が出力されない機器の場合は、3.5mm オーディオケーブルで対象機器の音声出力端子と液晶の AUDIO IN 端子を接続し、Line-In を選択してください。	HDMI (HDMI 音声に切り替えます。) Line-In (AUDIO IN 端子から入力される音声に切り替えます。)

※ パソコンから HDMI 出力をされている場合、音声出力の設定変更が必要なことがあります。

※ DVI、VGA 入力選択時は HDMI Audio メニューは設定できません。

6. カラー調整



色温度を調整し、表示画面をお好みに沿った色味へ調整します。

※操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

カラー調整で設定できる項目

項目名	説明	設定値
sRGB	国際標準規格の色空間 (sRGB) に設定します。カメラやプリンターなどの機器の違いによらず同じ色味を再現できます。	
クール	全体的に青みがある冷たい色味に調整します。	
ノーマル	標準的な色味に調整します。	
ウォーム	全体的に赤みがある暖かい色味に調整します。	
ユーザーカラー設定	色味表示に使用する赤・緑・青の数値を個別に調整します。	赤：0～100 緑：0～100 青：0～100

※sRGB 設定を有効にすると、機能の特性上ピクチャー調整の設定ができなくなります。

※マニュアル画像調整の Picture Mode を標準以外に設定する、もしくは Blue Light Reducer を有効にすると、機能の特性上カラー調整の設定ができなくなります。

7. インフォメーションの表示



現在表示している解像度、水平周波数、垂直周波数、ドットクロックを表示します。

※ このメニューは情報の表示のみで操作、変更可能な項目はありません。

8. マニュアル画像調整



※ 操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

マニュアル画像調整で設定できる項目

項目名	説明	設定値
水平／垂直位置	画面表示位置の水平／垂直位置を調整します。	水平位置：0 ～ 100 垂直位置：0 ～ 100
クロック	画面に縦縞やちらつき、にじみが表示される場合に画面の位相を調整します。	0 ～ 100
フェーズ	クロックと同様に、画面にちらつき、にじみが表示される場合に調整します。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行います。	0 ～ 100
シャープネス	文字や画像がにじんで見える場合に画面のシャープネスを微調整します。 ※ 1280 × 1024 などの 4:3 解像度が入力された時に、調整可能になります。	0 ～ 4
画面モードの調整	画面のアスペクト比を調整します。 ※ 1280 × 1024 などの 4:3 解像度が入力された時に、調整可能になります。	アスペクト比 フルスクリーン ※ アスペクト比に設定した場合、解像度の比率を変えずに、画面全体に拡大表示します。
Picture Mode	各種映像コンテンツ毎にプリセットされた、調整済みの設定を使用します。	標準 / ゲーム / 映画 / 風景 / テキスト
Blue Light Reducer	ブルーライトの軽減を 3 段階で調整します。 ※ 青色の発色をカットするため、黄色がかった表示になります。	オフ, 1, 2, 3 (3 段階)

※ DVI、HDMI 入力選択をしている場合、水平／垂直位置、クロック、フェーズの項目は自動調整されるため設定できません。

マニュアル画像調整

※ 標準以外の Picture Mode の設定を選択すると、機能の特性上「Over Drive 以外のピクチャー調整」、「カラー調整」、「シャープネス」は設定できなくなります。

※ Blue Light Reducer を有効にすると、機能の特性上「カラー調整」、「Picture Mode」は設定できなくなります。

9. 設定メニュー



OSD メニュー自体の表示設定と電源 LED の設定を調整できます。

※ 操作方法については、「1. OSD 基本操作と設定」を参照してください。

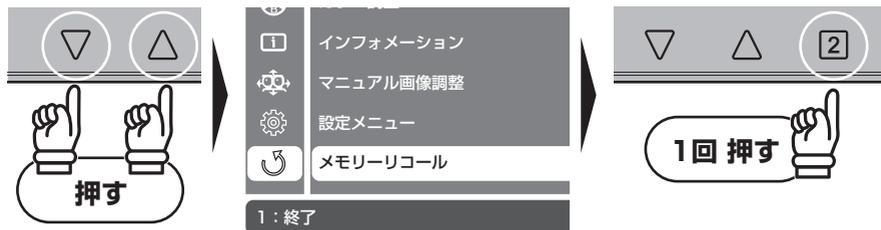
設定メニューで設定できる項目

項目名	説明	設定値
言語選択	OSD メニューの表示言語を変更します。	English 日本語
OSD 位置	OSD メニューを表示する位置を設定します。	水平位置：0 ～ 100 垂直位置：0 ～ 100
OSD 表示時間	OSD 操作終了後に、OSD メニューが消えるまでの時間を設定します。	10 ～ 60
OSD 背景	OSD メニューウィンドウを半透明に設定します。	チェック (有効または無効)
LED	電源 LED の動作を設定します。チェックを外した場合本機の電源 ON / OFF やスリープの状態にかかわらず、常に LED は消灯します。	チェック (有効または無効)

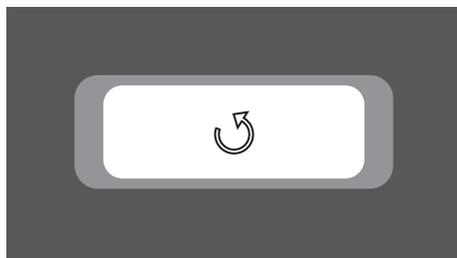
10. メモリーリコール

各種設定をすべて初期設定値の状態へ戻します。

- ① △▽ ボタンでメモリーリコールを選択し、② ボタンで実行してください。



- ② 画面が暗くなり、メモリーリコールのアイコンが表示されます。調整が終了するとアイコンが消え、元の画面に戻ります。



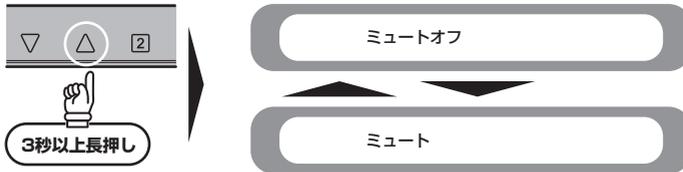
11. 便利なクイック操作

OSD メニューを表示していない状態でも、いくつかのメニューは設定を変更することが可能です。

オーディオ調整

△ ボタンを 1 秒押すとオーディオ調整メニューが表示されます。

△ ボタンを 3 秒以上長押しすることで、ミュート機能のオンとオフを切り替えます。



入力選択

② ボタンを押すと画面に表示する入力端子を選択するメニューが表示されます。

Picture Mode / 自動画面調整

▽ ボタンを押すと Picture Mode メニューが表示されます。

▽ ボタンを 3 秒以上長押しすると自動画面調整が実行されます。

※ VGA 入力選択のみ

コントラスト / 輝度の初期化

△▽ ボタンを同時に押すとコントラスト / 輝度を初期設定の値に戻します。

※ 画面上にメッセージは表示されません。

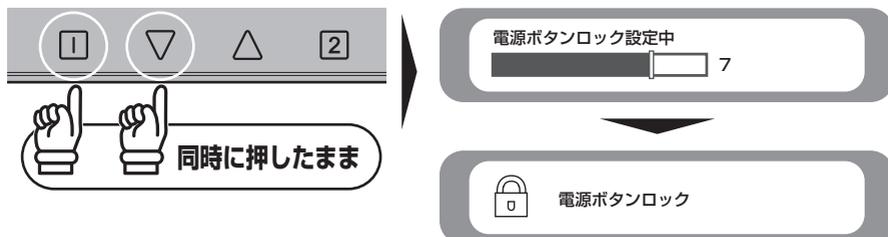
※ 初期設定の値はコントラストが 50、輝度が 80 です。

便利なクイック操作

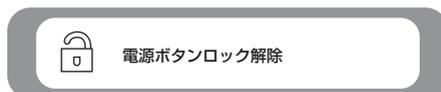
電源ロック

電源ボタンを操作できないようにロックすることができます。

- ① □ ボタンと ▽ ボタンを同時に長押しすると、電源ロックメニューとプログレスバーが表示されます。
そのまま指を離さずボタンを押し続けるとプログレスバーのカウントが進み、10になると電源ロックが有効になります。



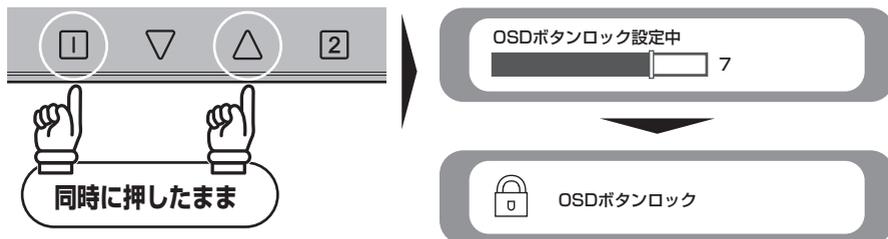
- ② 電源ロックを解除するには、再度 □ ボタンと ▽ ボタンを同時に押し続けます。
ロック時と同様にプログレスバーが進み、10になると電源ロックが解除されます。



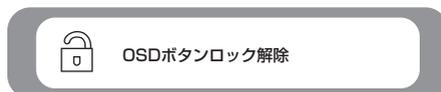
OSD ロック

OSD ボタンのロック機能を有効にすると、OSD メニューの操作を制限することができます。

- ① □ ボタンと △ ボタンを同時に長押しすると、OSD ロックメニューとプログレスバーが表示されます。
そのまま指を離さずボタンを押し続けるとプログレスバーのカウントが進み、10になればOSD ロックが有効になります。



- ② OSD ロックを解除するには、再度 □ ボタンと △ ボタンを同時に押し続けます。
ロック時と同様にプログレスバーのカウントが進み、OSD ロックが解除されます。



12. 製品仕様について

モデル毎の製品仕様や、解像度・リフレッシュレートにつきましては、弊社 Web ページ内、製品案内の液晶ディスプレイカテゴリから、該当する型番のページをご参照ください。

URL <http://www.princeton.co.jp/product/tft.html>

13. 用語集

用語	説明
OSD	オンスクリーンディスプレイの略で、画面上に液晶ディスプレイの設定画面を表示する機能です。
クロック	アナログ映像信号をデジタルに変換する際の、クロック（周波数）です。
フェーズ	アナログ映像信号をデジタルに変換する際の、サンプリングタイミングです。
輝度	画面の明るさのことです。
コントラスト	画面の白：黒の輝度比率のことです。
DCR	Dynamic Contrast Ratio の略で、映像の色合いに応じて、画面の輝度およびコントラスト値が自動調整される機能です。 暗いシーンでは画面が暗く、明るいシーンでは画面が明るくなります。
Over Drive	中間色の応答速度を引き上げ、動画の残像を軽減する機能です。
ドットクロック	1ドットあたりの画素を表示させる周波数です。
ブルーライト	人間が見ることのできる可視光のうち、約 380nm ～ 500nm の範囲がブルーライトと呼ばれる波長領域です。

開発・製造・販売元

PRINCETON 株式会社プリンストン

本社 〒 101-0032 東京都千代田区岩本町 3-9-5 K.A.I. ビル 3F
URL : <http://www.princeton.co.jp>

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。

本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。

本書では®™は明記しておりません。

本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。